

# INFORMATION

No. 2401-03

## 新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

謹白

### 記

#### ■検査項目 非結核性遅発育抗酸菌MIC測定 [コード; 7920]

抗酸菌のうち、結核菌群と迅速発育抗酸菌 (rapidly growing mycobacteria: RGM) を除く抗酸菌は、非結核性遅発育抗酸菌 (slowly growing mycobacteria: SGM) と定義されています。この非結核性遅発育抗酸菌症は近年増加傾向であり、その中でも肺Mycobacterium avium complex (MAC) 症はしばしば治療困難となるため、長期間の抗菌薬併用療法が行われることがあります。

本検査はCLSI M24 3rd Edition に準拠した薬剤感受性検査で、非結核性遅発育抗酸菌症の治療方針決定に有用です。

#### 検査対象薬剤(14薬剤)

|                |                |                 |
|----------------|----------------|-----------------|
| CAM(クラリスロマイシン) | AZM(アジスロマイシン)  | MFLX(モキシフロキサシン) |
| STFX(シタフロキサシン) | AMK(アミカシン)     | KM(カナマイシン)      |
| MINO(ミノサイクリン)  | DOXY(ドキシサイクリン) | INH(イソニアジド)     |
| LZD(リネゾリド)     | EB(エタンブトール)    | TH(エチオナミド)      |
| RBT(リファブチン)    | RFP(リファンピシン)   |                 |

#### ■受託開始日

2024年 2月 1日(木) 受領分より

(裏面に続く)

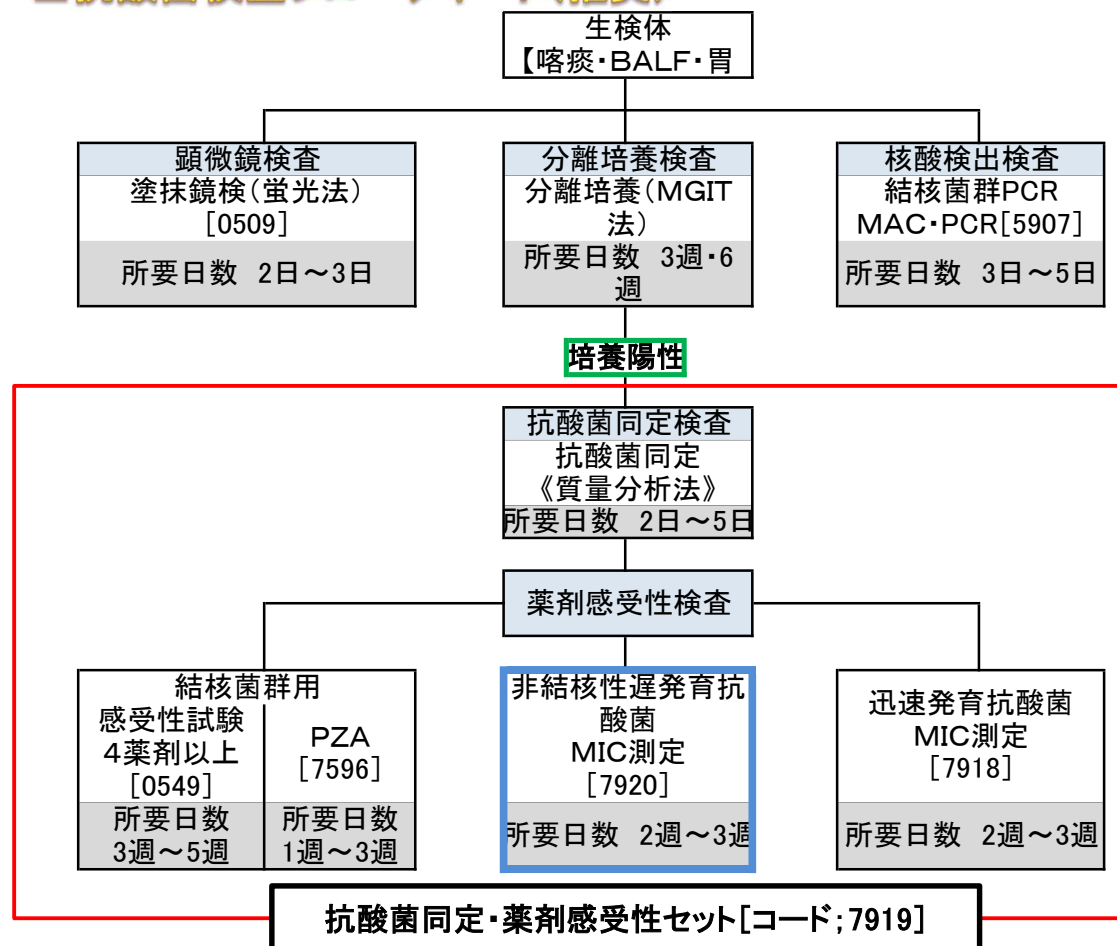
## ■薬剤感受性検査受託要領

|            |                                                |
|------------|------------------------------------------------|
| コード        | 7920                                           |
| 検査項目名      | 非結核性遅発育抗酸菌MIC測定                                |
| 検体必要量      | 菌 株：抗酸菌の発育が認められるもの<br>生検体：喀痰、胃液など2～3mL         |
| 容器         | 菌 株：抗酸菌用培地<br>生検体：スポイト式採痰管(ℓ)、採痰管(k)、滅菌スピッツ(e) |
| 検体の保存方法    | 菌 株：室温<br>生検体：冷蔵                               |
| 所要日数       | 2週～3週                                          |
| 検査方法       | 液体培地希釈法                                        |
| 報告形式       | MIC値(μg/mL)                                    |
| 実施料[判断料区分] | 400点[微生物学的検査]                                  |
| 備考         | 注)所要日数に培養日数および増菌などにかかる日数は含まれません<br>のでご注意ください。  |

## 出検時の注意事項

- 貴施設にて、抗酸菌の培養・同定検査を行った後の菌株でご提出の場合は雑菌が発育していないことをご確認の上、菌種名を依頼書にご記入ください。
- 同定されていない菌株でご提出の場合は、抗酸菌同定《質量分析法》も同時にご依頼ください。菌種確定後に検査を実施いたします。
- 生検体でご提出の場合は、必ず分離培養と抗酸菌同定《質量分析法》も同時にご依頼ください。培養陽性となった場合に同定検査を行い、菌種確定後に検査を実施いたします  
(分離培養検査)
  - ・[5901]分離培養(MGIT法)
  - ・[0512]分離培養(小川培地法)
 (同定検査)
  - ・[7916]抗酸菌同定《質量分析法》

## ■抗酸菌検査フローチャート(推奨)



※抗酸菌同定・薬剤感受性セットも併せて変更となります。